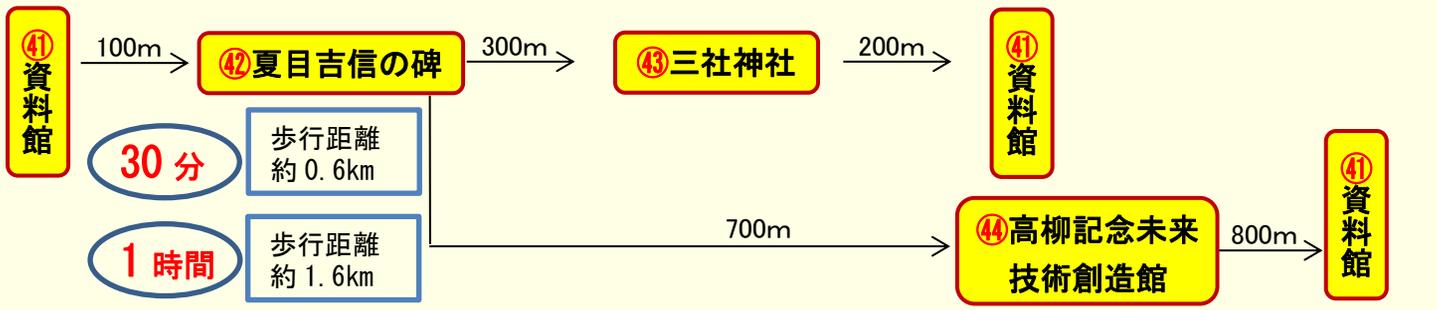


犀ヶ崖発 徒歩30分・1時間コース



三方原の戦いで討死した武将のうち、最も有名な夏目次郎左衛門吉信。敗走中の家康の身代わりとなり、武田勢に突進・奮戦した。



創建は延暦 15 年(796 年)。三方原の戦いで社殿、社宝などが焼失したが、寛文 8 年(1668 年)浜松藩主太田資宗が社殿を造営し現在地に遷座。



世界で初めてブラウン管に「イ」の字を映し出した高柳健次郎の偉業を偲び設立。テレビの社会への波及効果の具体例などを展示。



大正 3 年(1914 年)から昭和 39 年(1964 年)まで、浜松～奥山間を走っていた軽便鉄道の跡が、遊歩道になっている。春の桜、夏の緑陰など市民が楽しめる遊歩道。



緑に囲まれた茶室で、呈茶サービス(有料)を行っている。もてなしの文化である茶道、その日本の美意識を感じてみてはいかが。



家康が 29 歳から 17 年間居城。家康の天下取りの足掛かりの城であり、出世城といわれる。野面(のづら)積みめの石垣は戦国時代そのまま現存。

④① 資料館

250m

③⑤ 奥山線跡遊歩道

730m

④⑤ 普濟寺

700m

④⑥ 西来院

500m

バス停

歩行距離
約 2.8km

→

④⑦ 宗源院

600m

④⑧ 西部協働センター(「イ」の字)

20m

広沢一丁目

1 時間



③⑤ 奥山線跡遊歩道

大正3年(1914年)から昭和39年(1964年)まで、浜松～奥山間を走っていた軽便鉄道の跡が、遊歩道になっている。春の桜、夏の緑陰など市民が楽しめる遊歩道。



④⑤ 普濟寺

天竜川以西の曹洞宗の親寺。室町時代初期、華蔵義曇(けぞうぎどん)禅師により開かれ永享6年(1434年)に寺島から現在の地に移された。



④⑥ 西来院

曹洞宗、普濟寺十三派のひとつ。「月窟廟(家康の正室築山御前廟)」、「松平源三郎康俊(家康の異父弟)の墓」がこの寺にある。



④⑦ 宗源院

曹洞宗、普濟寺十三派のひとつ。応永23年(1416年)に在天弘雲和尚により開かれた。「成瀬藤蔵正義の墓」など三方原合戦で戦死した兵士の墓がある。



④⑧ 西部協働センター

昭和元年(1926年)に高柳健次郎が世界で初めてブラウン管に「イ」の字を映し出すことに成功。当時の浜松高等工業学校跡地に「イ」の字と「浜松高等工業学校開校の地」の碑がある。



「イ」の字を罫で書いた雲田坂
(1926年(大15))



“テレビの父”
高柳健次郎 (1899～1990)
昭和56年(1981年)文化勲章受章
写真：静岡大学高柳記念
未来技術創造館提供

④① 資料館

1.7km

④⑨ 蛭塚公園

200m

バス停

蛭塚遺跡前

1 時間

歩行距離
約 1.9km

歩行距離
約 2.1km

200m

⑤① 浜松市博物館

200m

バス停

博物館



博物館に隣接し、蛭塚遺跡のある公園。縄文人が積み上げた貝塚の断面を観察したり、復元された住居に入ったりと、縄文時代にタイムスリップしたような気分を味わうことができる。



市立の歴史系博物館で、原始から近代まで、浜松地域の歴史資料を紹介しており、縄文時代の貝塚、国指定史跡「蛭塚遺跡(しじみづかいせき)」に隣接している。



マンホール